

運動の楽しさを味わいながら、「わかった」「できた」へつなぎ、進んで運動に取り組む子どもの育成

大分県臼杵市立臼杵小学校

全校児童数	182名（男子90名 女子92名）		
全クラス数	9	教職員数	25名
体育専科教員訪問学校数			2校
訪問校	市浜小 ・ 下南小		
体育専科教員名			藤澤 貴紀

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆体育アンケートの結果より

昨年度末アンケート「体育の授業が好き」な子どもは95.1%、「外遊びをすすんでしている」子どもは85.1%→この水準を維持、そして向上をめざしていきたい。

◆体力・運動能力調査の結果より

おおむね全国や大分県の平均を上回るが、「握力」と「ボール投げ」はやや低い。

→年間の授業を計画的に行い、多様な運動経験をさせることで体力向上を図ってきたい。

2 取組の計画

- (1) 「わかった」「できた」を実感できる体育学習
- (2) 体育的環境の整備
- (3) 健康的な生活を送る子どもの育成
- (4) 市全体に実践を広げる取組

Do：実践内容

1 「わかった」「できた」を実感できる体育学習

(1) 授業の展開

- ①板書の工夫（学習の見通し、めあてとふりかえり）
- ②生徒指導の三機能を意識した授業
- ③教職員の指導力向上のためのチームティーチング

(2) 「思考力、判断力、表現力等」の育成

- ①視点を明確にした見合い、教え合い、伝え合いの設定
- ②自己の課題に合った場ややり方の選択
- ③1人1台端末の効果的な活用

(3) だれもが活躍できる体育学習に向けた工夫

- ①課題解決に向けて場を選べる
→課題解決ができる場や練習方法を提示し、自分で選んだ学び方で、主体的に運動に取り組める子どもへ
- ②だれもが楽しめるルールの工夫
→全員にボール操作をしたり得点したりするチャンスがあるゲームづくり
- ③主運動につながる動きづくりの設定
→運動の基礎感覚をスモールステップで習得できる動きづくりのパターン化

2 体育的環境の整備

- (1) スポーツ人材の活用
- (2) ニュースポーツの教材整備
- (3) なわとび発表会、長なわ大会の実施
- (4) ドッジボールコート、ジャンピングボードの設置

3 健康的な生活を送る子どもの育成

- (1) 外遊びの推進（1校1実践；読書の取組と連携）
 - ①授業で使った場の休み時間開放（鉄棒、跳び箱など）
 - ②外遊びと読書の推進連携実践「スポどくビンゴ」
- (2) 栄養教諭と連携した食育授業

4 市全体に実践を広げる取組

(1) 臼杵市体力向上会議

- 第1回：体力テスト測定のポイント（臼杵小）
- 第2回：公開授業（臼杵小）6年生「食育」
- 第3回：公開授業（臼杵小）2年生「ボールゲーム」
- 第4回：今年度のまとめと来年度に向けて

(2) 体育専科教員訪問校指導

市浜小と下南小（ともに3・4年生）を対象に週2回の訪問校指導を行った。担任と授業展開について適宜相談をしながら、工夫・改善をしていくことができた。

(3) 幼小連携研修会（幼小公開授業）

臼杵小校区3園の園児（年長）を小学校に招き、小学校体育の授業体験を実施した。単元は、第1学年の「体づくりの運動遊び」：多様な動きをつくる運動遊びの実践を行った。

(4) 体育専科の授業「ショートムービーの発信」

UICツール「グループチャット機能」を使い、体育専科が行った授業のようすをまとめた短い動画を発信した。市内の先生方がいつでも自由に見られるようにした。

●工夫したこと&苦労した点

- ①体育専科公開授業では、3年生以上のネット型ゲームで「ラリーが続かない」などの困りをもつ先生方がいることを受け、低学年で「ボール投げ入れゲーム」を行った。低学年で素地を培うことが、中学年、高学年のゲームへとつながることを市内の先生方と共通理解することができた。
- ②「1校1実践」では、外遊びと読書の充実をテーマに、「スポどくビンゴ」に取り組んだ。ビンゴカードは、3種類あり、子どもが自分で好みのカードを選べるようにした。

Check：取組の成果

- ①アンケート「体育の授業が好き」という設定に対する肯定的回答をした子どもは95.8%（+0.7%）
→高い水準を維持できた。昨年に続き、学級担任をする教職員メンバーが変わらなかったため、計画的に授業を行うことができた。
- ②アンケート「外遊びをしている」という設問に対する肯定的回答をした子どもは90.9%（+5.8%）
→日頃、外遊びをあまりしない子どもたちも「スポどくビンゴ」の取組があることによって、外遊びをする姿が多く見られた。

Action：今後の課題

- ①この2年間にはなかった教職員メンバーの入れ替わりがあった際に、どのようにして取組をつないでいくか。
- ②取組による「外遊び」を、いかに継続させ、運動の日常化につないでいくか。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

- ・教職員の授業改善
- ・体力テストの記録向上
- ・体育、運動が好き、楽しいと思う子どもたちの増加

県外の先生方への公開授業および情報交換



「器械・器具を使つての運動遊び」：マットを使った運動遊び

ゲストティーチャー



フットサル教室

課題解決に向けて、自己に合った場や方法を選んで運動に取り組む



なかまと協働して



ソフト跳び箱を使って

公開授業（食育）／担任・栄養教諭・保健師



生活習慣病について学ぶ

スポどくビンゴ



3種類から好きなカードを



グローブを使って

体育専科公開授業



「ゲーム」：ボールゲーム（投げ入れゲーム）
・ボールの投げ方を工夫して攻める
・事後研では、ネット型の系統性を確認

臼杵市幼小連携研修会「園児の小学校授業体験」



「体づくりの運動遊び」：
多様な動きをつくる運動遊び
・他園の友だちとも仲よく
・こども園の先生、小学校の先生が参観